



ほっと まちのニュース

市内のイベントを随時発信！

十和田市ブログ駒の里

検索



1/18

誘致企業14年ぶりの工場立地

東京組・県と工場立地基本協定調印

十和田富士屋ホテルで株東京組（中野渡利八郎代表取締役会長）、青森県、市の3者が『工場立地基本協定』の調印を行いました。同社は、県産スギを使用し、断熱性能に優れた低価格の木製サッシを生産する国内最大規模の工場（『株日本の窓』）を来年3月に操業予定で、従業員28人の地元採用も予定しています。

地域の木材を活用した産業振興と雇用創出に大きな期待が集まります。



協定書を披露（左から小山田市長、当市出身の中野渡代表取締役会長、八桁幸男県商工労働部長）



りりしく行進する姿に、沿道の観客からたくさんの拍手がおくれました

1/17

空高く響くラッパの音と号令の声

十和田市消防出初式

十和田市消防出初式が官庁街通りなどで行われました。官庁街通りには、消防職員と消防団員合わせて745人と、消防車両50台が整列。小山田市長らが巡閲した後、ラッパ隊の演奏に合わせて勇壮な分列行進を披露しました。市民文化センターに移動後の式典では表彰などが行われ、一年間の消防団活動などを通して、最も優れた第4分団が優良消防分団、第2分団と第5分団が準優良消防分団を受賞し、小山田市長から表彰を受けました。

1/9

行け行け！ぼくらの自慢のロボット

少年少女発明クラブロボット競技会

南公民館で『平成27年度十和田市少年少女発明クラブロボット競技会』が開催され、39人のクラブ員がロボコップ相撲、甲虫ロボ競技、オーバー・ヒル・アタックの3種目で自作のロボットを操作し競い合いました。

ロボコップ相撲で優勝した大坂流空くん（東小4年）は「モーターを前に付けてパワーを出すように工夫しました。ロボット作りは好きなので、これからも続けていきたいです」と話しました。



相手側得点ゾーンに入れたゴルフボールの数を競うオーバー・ヒル・アタック。真剣な表情で操作します



最後に、参加者全員で「ラヴィアンローズ！」ボランティアの皆さん、ありがとうございました

1/6

ボランティアは当市の誇り

ボランティア感謝の集い&解団式

市民文化センターで、『第10回B-1グランプリ in 十和田ボランティア感謝の集い並びに解団式』が行われました。解団式では、大会長の小山田市長がボランティアに協力した小・中・高校30校に感謝状を贈呈。ボランティアを代表し、高屋友輔さん（十和田西高3年）が「地域愛にあふれたかたがたと時間を共有できたことを誇りに思います。今後も市民全員で、元気な十和田になるためのまちづくりを頑張っていきましょう」とあいさつしました。